

最新機種 YMR-08AP

ヤマハ発動機株式会社

■主要諸元

| | | |
|------|-----------|------------|
| サイズ | フライト時最大全幅 | 2,181mm |
| | フライト時最大全長 | 1,923mm |
| ローター | 枚数 | 8枚 |
| | 配置 | 4X+サイド二重反転 |
| 散布装置 | タンク容量 | 10L |
| | 散布幅 | 5m |



オートパイロット機能と専用ソフトが省力化を実現

ヤマハ発動機株式会社は、2020年3月に農業用マルチローター「YMR-08AP」を発売。無人ヘリコプターに匹敵する散布性能を備えたYMR-08に、オートパイロット機能を搭載し、次世代農業に新たな1ページを加えるモデルが登場しました。



散布の負担をさらに軽減、新しい農業のカタチを作る agFMS(散布コントロールアプリケーション)は、測定モジュールからの圃場計測情報をもとに適切な散布ルートを作成します。障害物などがある場合も、その位置を読み込ませることで、障害物を回避した散布ルートの自動生成が可能です。YMR-08APは自動生成された散布ルートを忠実に飛行、散布しますので、圃場状況も踏まえた散布ルートなので、枕地散布も必要ありません。オペレーターは手元のモニターで確認するだけなので、オペレーターのスキルによる散布ムラは無くなります。また、RTK制御による誤差数センチメートル範囲での位置把握も、高精度な散布の実現に寄与しています。安全に配慮し、

▶高精度散布を実施するagFMS(散布専用アプリケーション)

離着陸はマニュアル操作、散布スタート地点付近からオートパイロット機能が開始します。散布途中で薬剤がなくなつた場合は、その位置を正確に把握することが可能なので、補給後の再散布でムダを省きます(レジューム機能)。

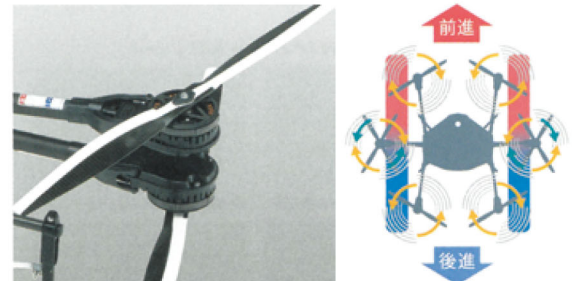
散布時間が短縮され、利用可能用途も拡大

散布ポンプや散布ノズルの設計が見直され、液剤散布装置の散布幅は従来の4メートルから5メートルへ変更されました。さらに、自動飛行散布速度が13キロメートル/時から20キロメートル/時へスピードアップ。1ヘクタールあたりの散布時間は4分も短縮されました。新型液剤散布装置には液面センサーが搭載され、散布中の液剤切れを送信機から確認することができます。散布装置を交換することで、さまざまな粒剤散布が可能になったのも多くのユーザーにとって待望の機能。カートリッジ内部のローラーを交換することで細かな粒剤から粗い粒剤まで散布が可能になり、圃場の状況に合わせた適切な防除や、播種、追肥作業もできるようになりました。

効率化、安全な作業を目指す次世代の農家にとって「YMR-08AP」は欠かせないパートナーになってくれるはずです。

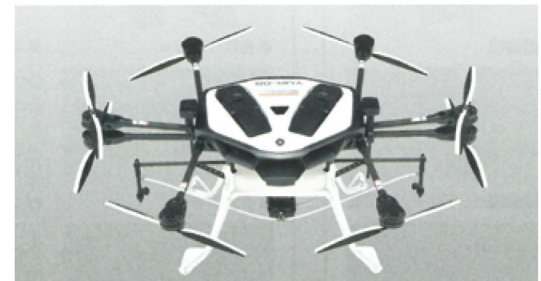
先進のYMR-08の散布クオリティはそのままに

散布品質を一番考えた二重反転ローター



何より大切にしたいのは、農業用機械として薬剤をムラなく、株元まで届ける高い散布性能。試行錯誤の末にたどり着いた答えが、特別に開発された二重反転ローターでした。

高い信頼性を誇るメイドインジャパン品質



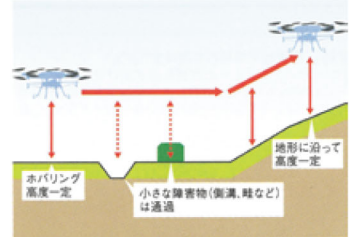
大容量で高出力を求められる専用バッテリーはTDK株式会社(ATL)と、小型で軽量および、高性能な産業用モーターは日本電産株式会社と共同開発しました。国産メーカーのモノ造り技術で生産し、信頼性が高く高品質な機体です。

農業の現場で使える機械として



カートリッジ式バッテリーは結線の必要がなく、手袋をしたままでも簡単に着脱ができます。また、可搬性に優れ、アームを折り畳むことなく軽トラックの荷台に積めるので現場への移動もスムーズ。保管時は前後4本のアームを折り畳み収納できます。

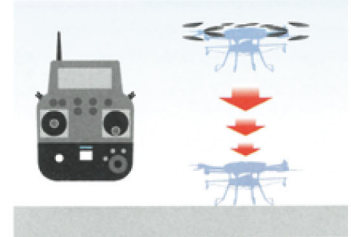
高度維持機能



機体から地面までの距離を計測し、高度を維持します。畦などの小さな障害物には反応せず、勾配10%までの斜面に対応。自動ターンアシストモードと並用することにより、平地でも傾斜地でも均一な薬剤散布が実現できます。

※マニュアル操作時のみ対応
※機体速度15km/hまで勾配10%の機能を保証

着地アシスト機能



意外と難しい機体の着陸。横倒れすると機体やローターの損傷にも繋がります。下降速度を自動で制御する機能を完備。さらに、機体の脚には衝撃を吸収する樹脂製スキッドを採用し着陸時の安定性に優れています。

※高度維持機能有効時に使用可能